

資源循環型施設整備事業に係る 環境影響評価準備書について

上田地域広域連合
上田市、東御市、青木村、長和町
令和6年4月、5月

坂城町で説明会を実施する理由（現状）

上田地域広域連合の構成市町村
⇒ 上田市、東御市、青木村、坂城町、長和町

可燃ごみの処理状況

坂城町

↓
ちくま環境
エネルギーセンター
(長野広域連合)

上田市、東御市
青木村、長和町

↓
上田クリーンセンター
丸子クリーンセンター
東部クリーンセンター
(上田地域広域連合)

ちくま環境エネルギーセンター
(長野広域連合)



坂城町で説明会を実施する理由 (本説明会の趣旨)

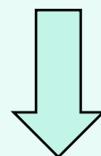
本説明会は、上田地域広域連合が管理する
3つのクリーンセンターの廃止・統合に伴い建設する
統合クリーンセンター（資源循環型施設）に係る
環境影響評価（準備書）の説明会

上田クリーンセンター
丸子クリーンセンター
東部クリーンセンター
(上田地域広域連合)



統合クリーンセンター
(資源循環型施設)

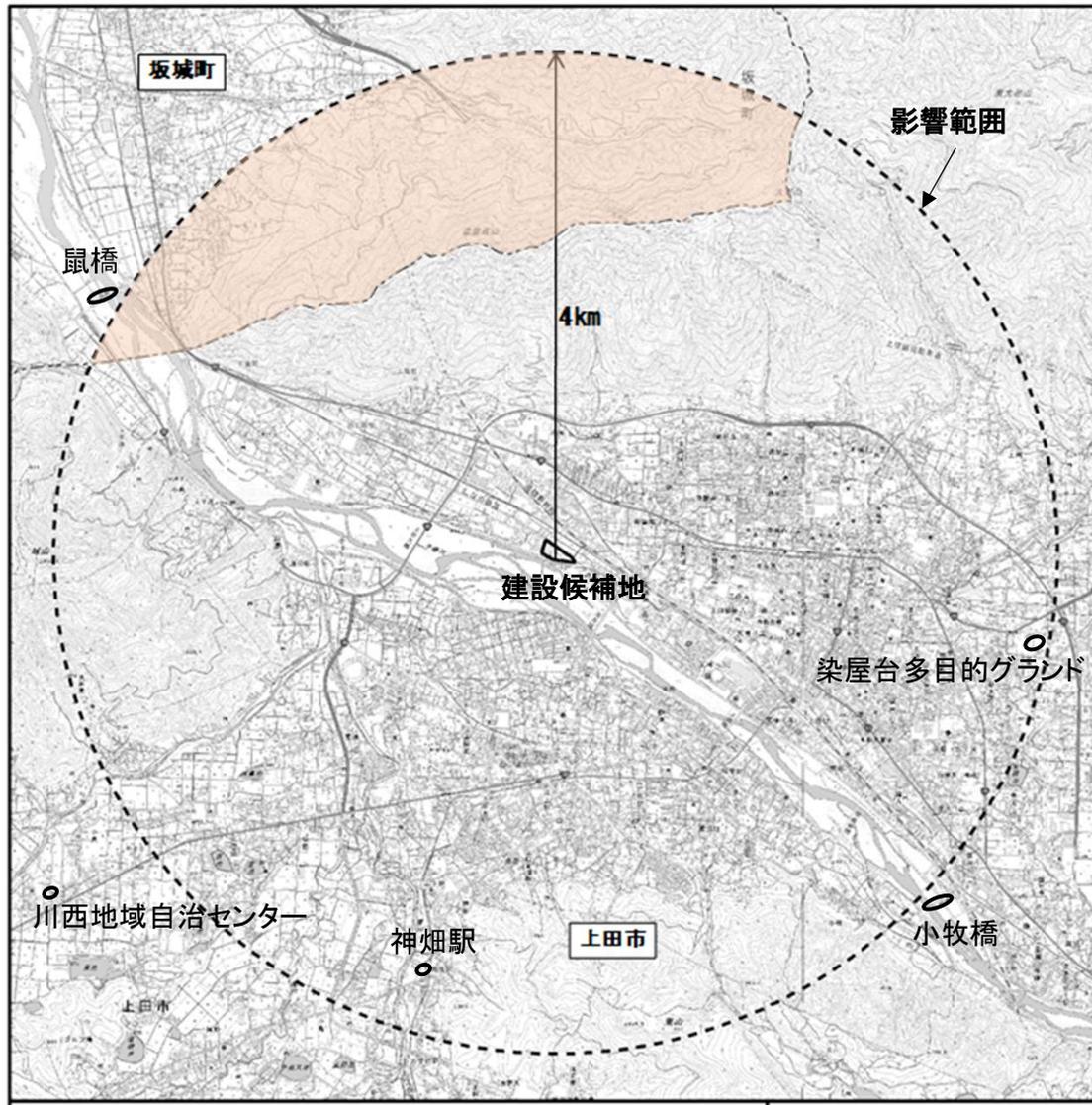
資源循環型施設へは、坂城町の可燃ごみは、搬入されない。



なぜ、坂城町で説明会を行うのか？

坂城町で説明会を実施する理由

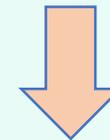
資源循環型施設の環境への影響範囲



環境影響評価において
環境への**影響範囲**を
半径4kmと想定
(煙突排ガスの影響範囲)



**坂城町の一部が
影響範囲に含まれる**



長野県条例に則り
坂城町において説明会

- 1 環境影響評価の手続き
- 2 事業計画の概要
- 3 環境影響評価項目の選定
- 4 調査、予測及び評価結果
- 5 今後の手続き

1 環境影響評価の手続き

長野県の環境影響評価

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

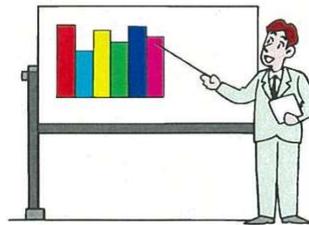
【環境影響評価（環境アセスメント）とは】

- 住民の皆様や関係自治体などの意見を聴きながら、
- 事業が環境に与える影響について調査・予測・評価し、
- 環境保全のための措置を検討することにより、

調査



予測



評価



⇒ 環境により配慮した事業としていくための制度です。

本事業の環境影響評価手続き

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

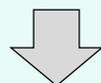
調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

済
配慮書の
手続き

配慮書

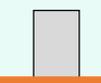
令和2年11月～令和3年10月



済
方法書の
手続き

方法書

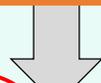
令和3年10月～令和4年9月



済
現地調査

準備書

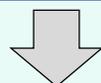
実施中(今回の説明会内容)



実施中
準備書の
手続き

●調査・予測・評価の結果等をまとめること

- ・環境影響を評価する項目毎に整理
(大気質、騒音、振動など)
- ・環境保全対策や事後調査計画も整理



評価書の
手続き

縦覧や説明会によりその内容を御説明し、御意見を伺う手続きです。

2 事業計画の概要

事業の目的

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き



上田クリーンセンター

稼働開始:昭和61年
処理能力:200t/日
(100t/24時間×2炉)
全連続燃焼式ストーカ炉

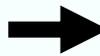


丸子クリーンセンター

稼働開始:平成4年
処理能力:40t/日
(20t/16時間×2炉)
准連続燃焼式ストーカ炉

現状の課題

- ・施設の老朽化
- ・維持管理費の増大



3クリーンセンターを廃止



統合クリーンセンター
(資源循環型施設)

広域処理



東部クリーンセンター

稼働開始:平成5年
処理能力:30t/日
(15t/8時間×2炉)
機械化バッチ燃焼式ストーカ炉



対象事業実施区域の位置

環境影響
評価の
手続き

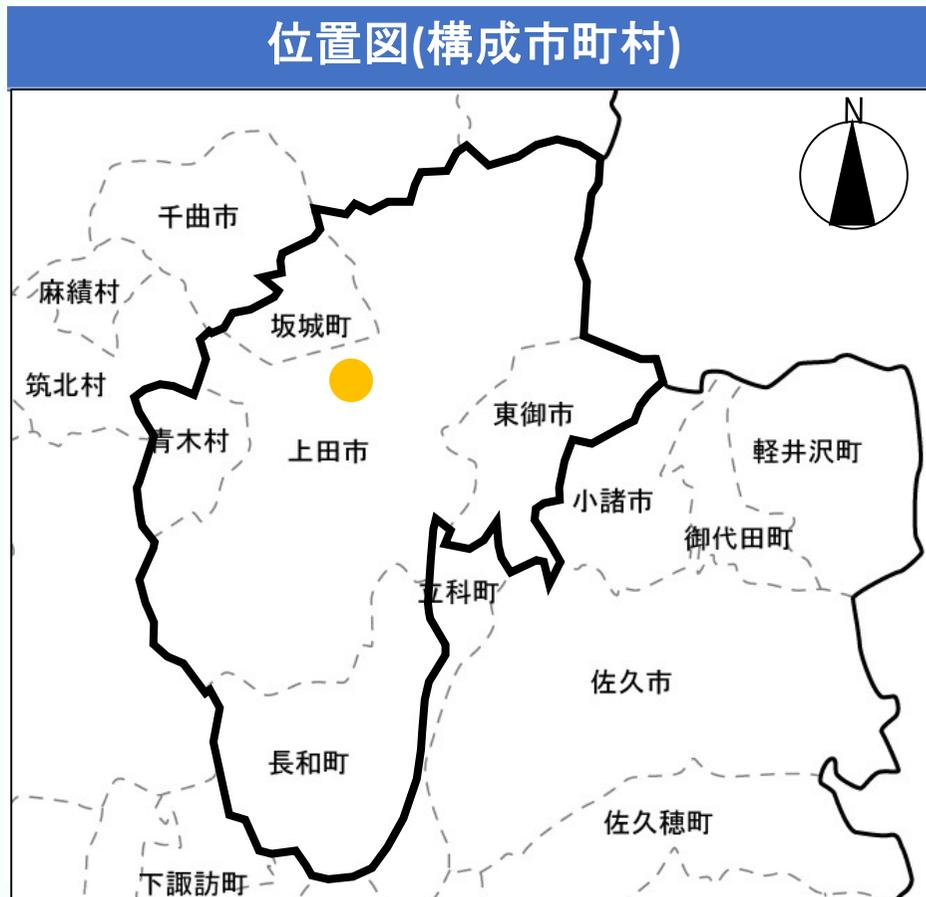
事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

項目	概要
位置	上田市常磐城2320ほか(し尿処理施設「清浄園」用地)
面積	約2ha



事業の内容

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

項目	計画諸元	
	資源循環型施設	備考
焼却対象物	・可燃ごみ及び災害廃棄物	・現状の分別区分のまま。
焼却処理能力	・最大144 t/日 (うち災害廃棄物 13t/日)	・既存3クリーンセンター建設時と比較して可燃ごみ量が大幅に減少しており既存3クリーンセンター合計値(270t/日)よりコンパクトとなる。
炉構成	・2炉構成(72t/日×2炉)	・既存3クリーンセンターも全て2炉構成
処理方式	・全連続式ストーカ焼却炉 (24時間連続運転)	・上田クリーンセンターと同様の方式
煙突高さ	・59m	・既存3クリーンセンターも全て59m
環境目標値 (排ガス)	・法規制値より厳しい自主基準値	・既存3クリーンセンターは、法規制値を基本
余熱有効利用	・場内利用、場外利用、発電	・既存3クリーンセンターは、余熱有効利用なし

施設配置計画(案)

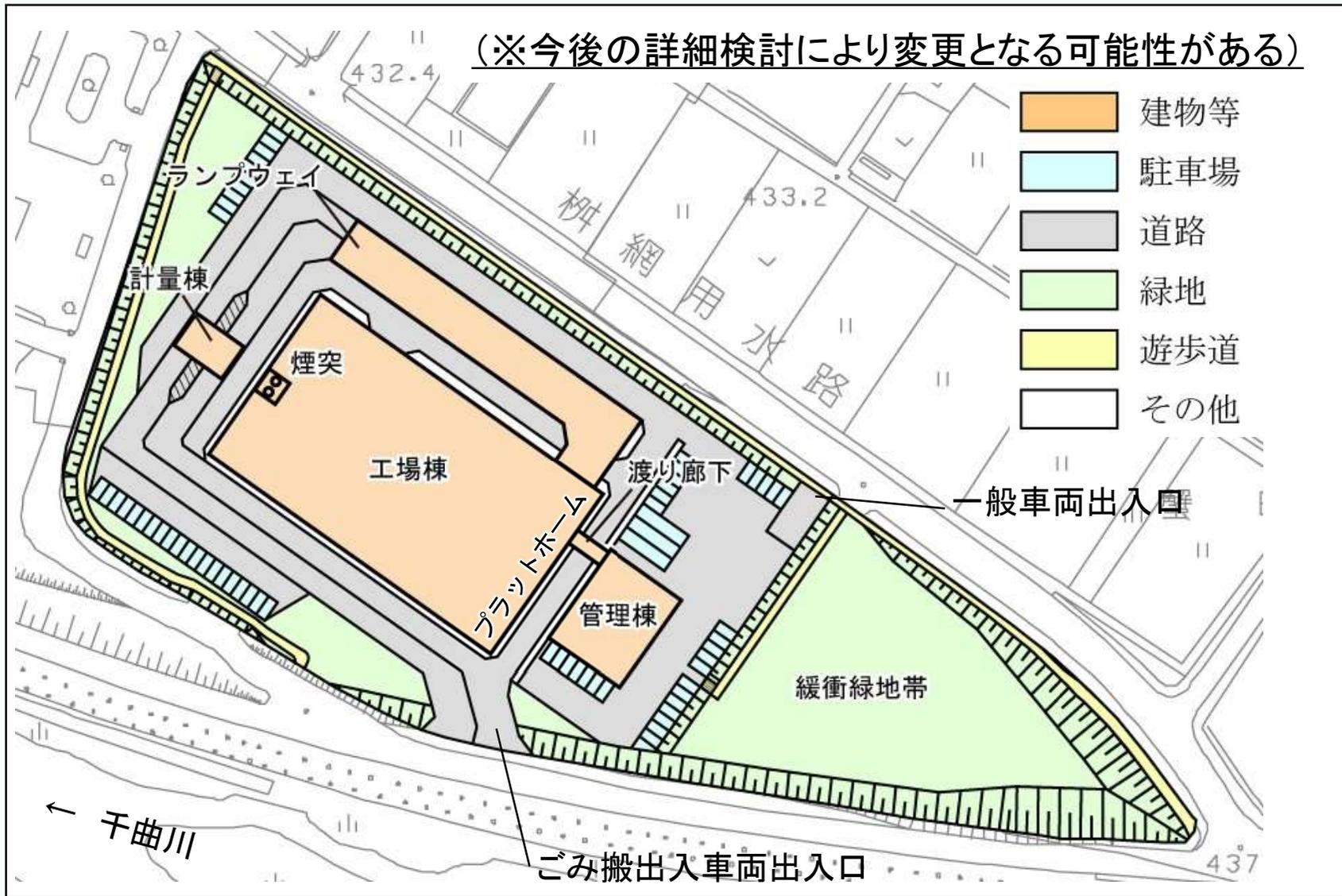
環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き



搬出入ルート

環境影響
評価の
手続き

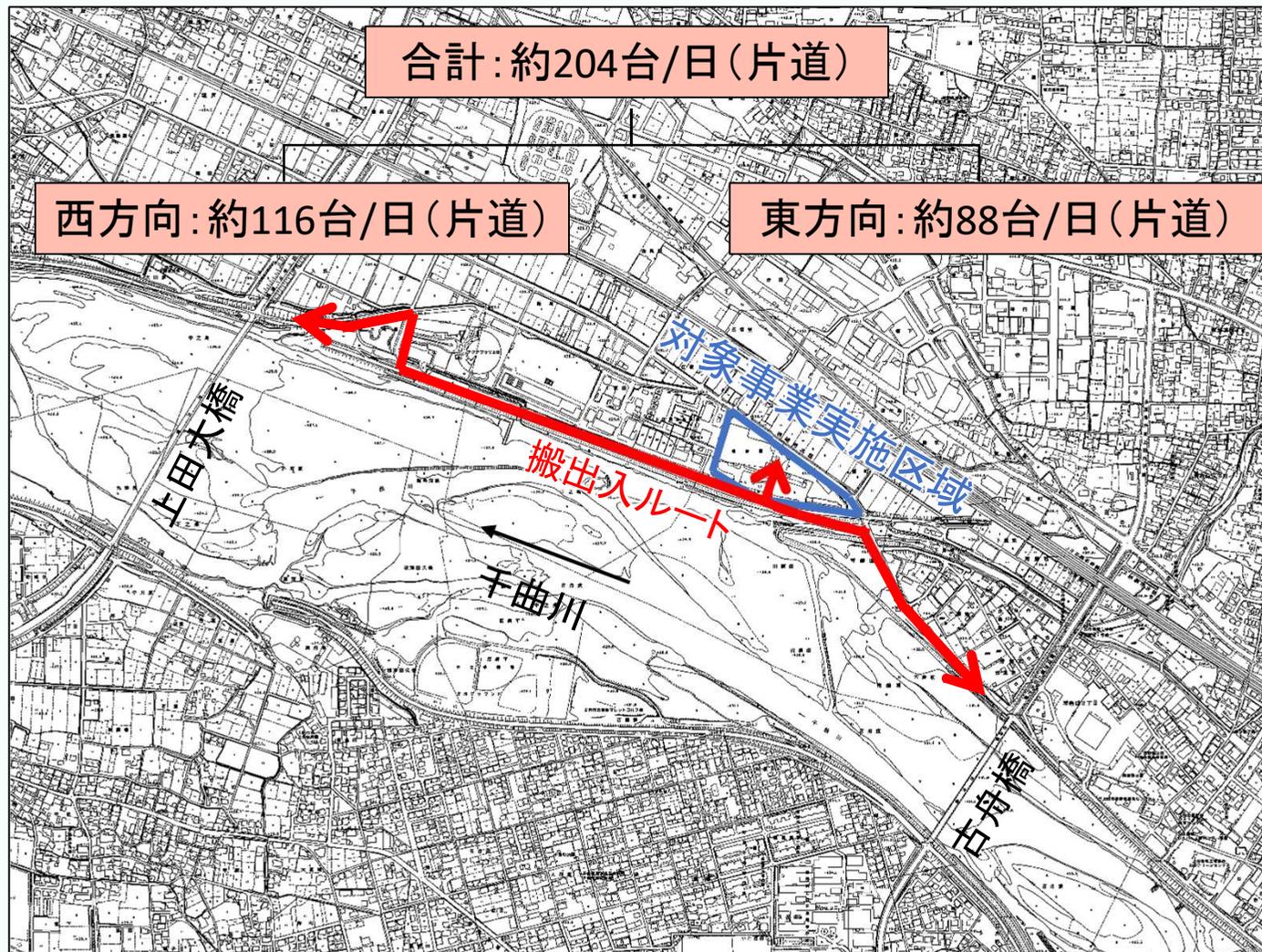
事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

廃棄物搬出入車両等は堤防道路を利用します。



公害防止基準

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

- ・排ガスは、法規制値より厳しい、「**自主基準値**」を設定する。
- ・プラント排水は、公共水域へ排水しない。
- ・悪臭は、外部に漏れることを防ぐとともに、高温の炉内で分解処理する。

項目	単位	自主基準値	本計画施設 に係る法規制値 (許容限度)	上田クリーン センターの 自主基準値
ばいじん	g/Nm ³	0.01	0.08	0.02
硫黄酸化物	ppm	30	(約4,000)	100
窒素酸化物	ppm	50	250	150
塩化水素	ppm	30	430	200
ダイオキシン類	ng-TEQ/Nm ³	0.1	1	1
水銀	μg/Nm ³	30	30	50

注1) 排出ガス濃度は酸素濃度12%換算値

注2) 上田クリーンセンターに係る法規制値は、法改正前の値であり、本計画施設の値と異なる。

水害対策

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

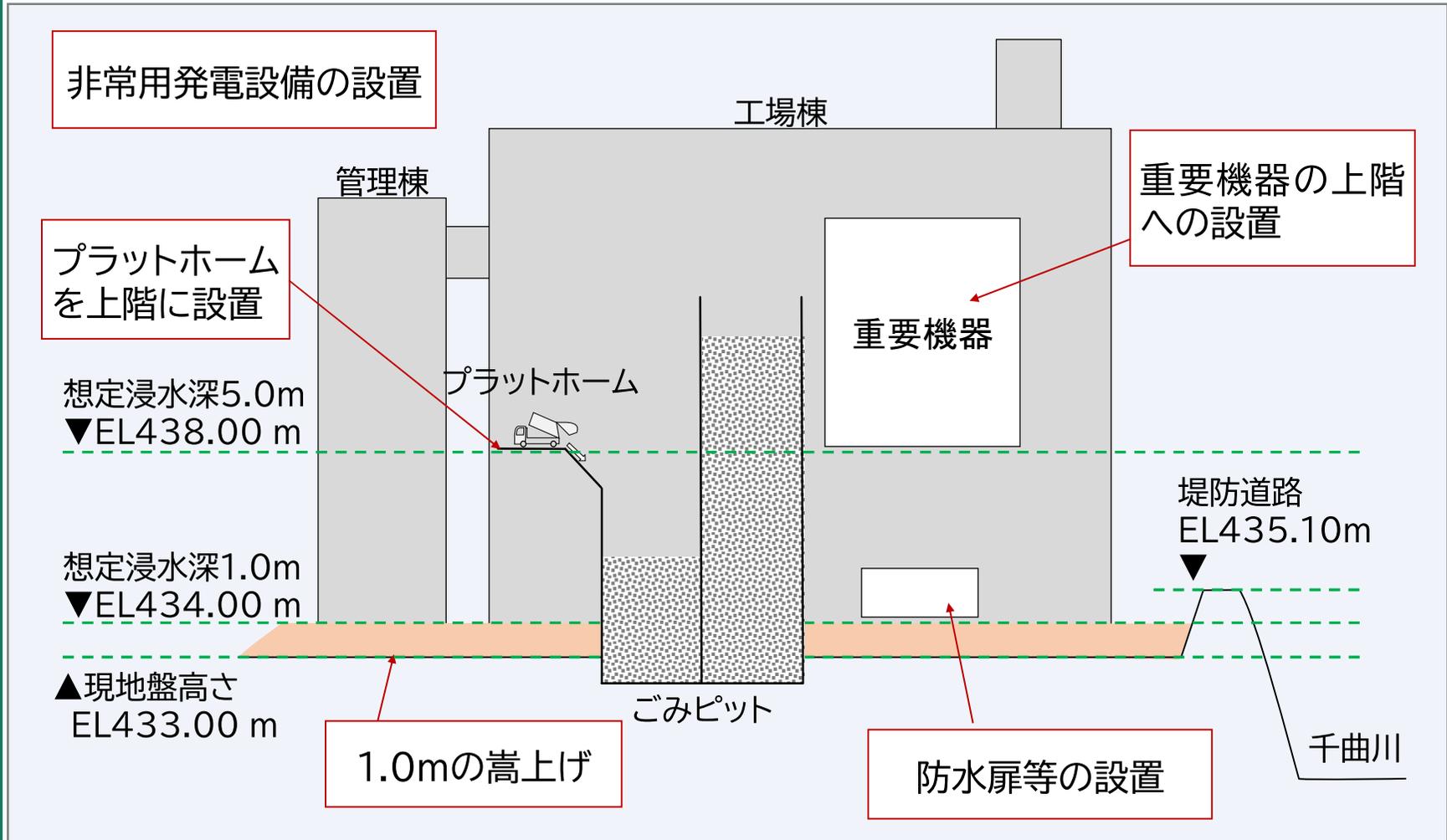
今後の
手続き

水害対策における基本方針

対象降雨	水害対策における基本方針
<p>100年に1度 程度の降雨 (浸水深0.5~1m)</p>	<p>ごみを処理する機能を守る</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>被災することなく、 ごみを処理する状態を保つ</p>
<p>1000年に1度 程度の降雨 (浸水深さ5~10m)</p>	<p>主要設備を守り、ごみを処理する機能を 速やかに回復する</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>被災したとしても、速やかに復旧し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの処理ができない期間を最小限とさせる ・ごみや焼却灰の流出など二次災害を生じさせない

水害対策

基本的な水害対策概略図



環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

事業工程

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

第4次ごみ処理広域化計画(令和3年3月)で示したスケジュール(案)

年度		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	
環境影響 評価	配慮書の手続き	← 済 →								
	方法書の手続き		← 済 →							
	現地調査		← 済 →							
	準備書の手続き			← 済 →						
	評価書の手続き				⇔					
	事後調査						⇔			
	調査・基本計画		← 済 →							
事業者選定					⇔					
施設建設						⇔				
施設稼働									●	

<スケジュールへの影響要因>

- ・働き方改革関連法の施行による工期の長期化
- ・技術者不足による工期への影響
- ・半導体不足などによるサプライチェーンの不透明化

3 環境影響評価項目の 選定

選定項目

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

事業によって影響を受けるおそれのある項目について選定。
(○のついた項目について、調査・予測・評価を実施)

影響要因	環境影響評価項目																			
	大気質	騒音	振動	低周波音	悪臭	水質	水象	土壌汚染	地盤沈下	地形地質	植物	動物	生態系	景観	触れ合い活動の場	文化財	廃棄物等	温室効果ガス等	日照障害	電波障害
供用時	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○
工事中	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○			

坂城町へ影響を与える項目は、「煙突排ガスによる大気質」であるため、本日の説明会は大気質に絞ってご説明します。

4 調査・予測及び評価結果

調査・予測・評価及び保全措置の流れ

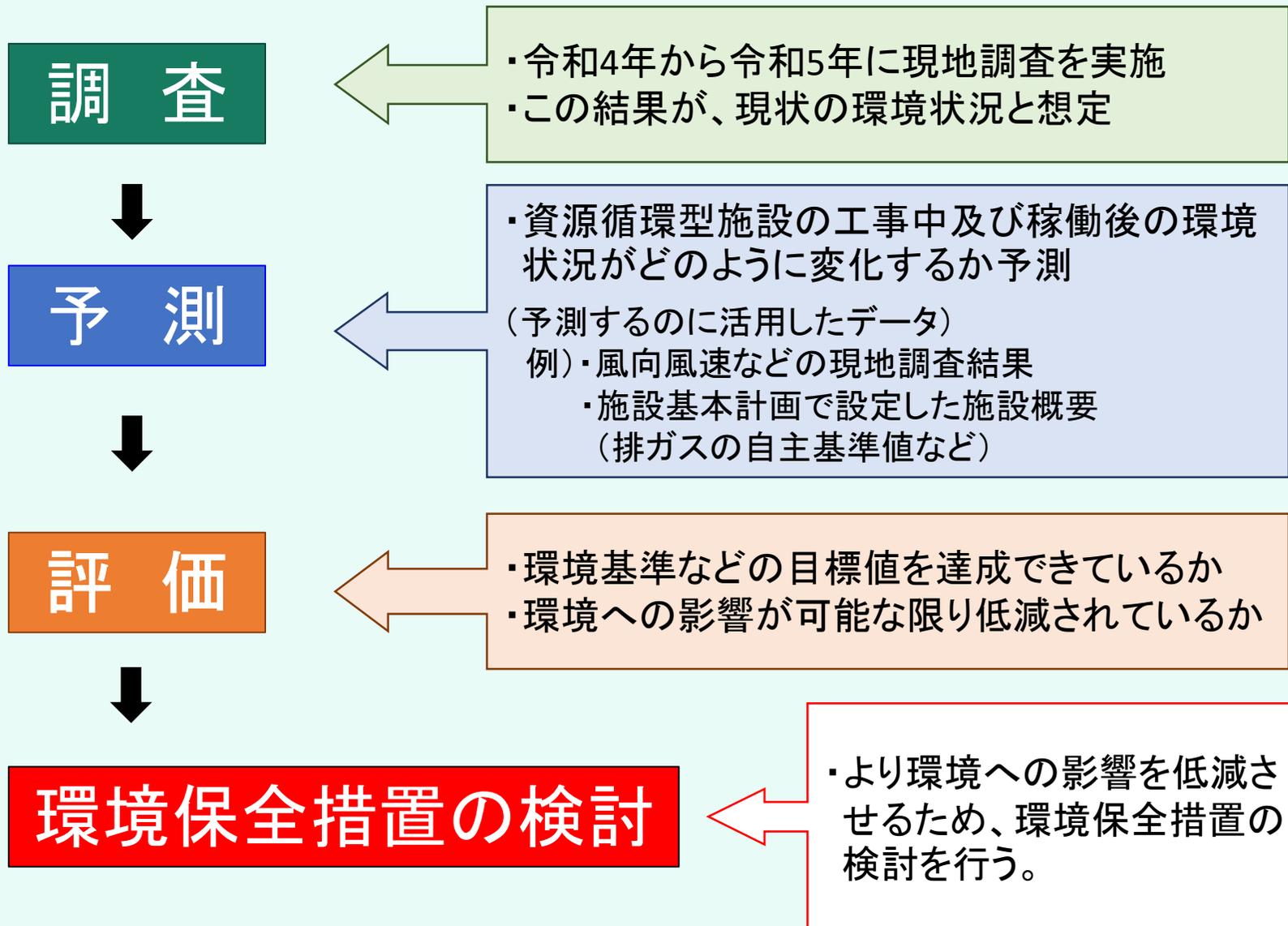
環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き



環境影響評価【準備書】の結果 【総括】

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

今回の準備書のまとめ

→資源循環型施設の建設工事期間及び稼働開始（供用）後も、安全・安心な生活環境を守ることができる。

調査結果

対象とした全ての項目について、それぞれの基準を満たしている。

予測結果

資源循環型施設の建設工事期間及び稼働開始（供用）後も、対象とした全ての項目について基準を満たすことができる。

評価結果

資源循環型施設が環境へ与える影響は小さく、将来にわたって、安全・安心な生活環境を守っていくことができる。

環境保全措置

- 各項目について適切な対策を行い、環境への影響をさらに低減させる。
- 地域住民とともに公害防止の枠組を創り、周辺環境の監視などを継続的に行い、将来にわたる安心へとつなげていく。

主な環境保全措置の例

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

項目	主な環境保全措置	効果
煙突排ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等に比べて厳しい自主基準値を設定し順守。 ・適正で信頼性の高い排ガス処理設備を導入する。 ・排出ガスの常時監視、法規制に基づく定期的な測定を実施し、適正な管理を行う。 	大気汚染物質濃度の低減
施設の稼働	<ul style="list-style-type: none"> ・機器については、極力屋内に収納・設置する。 ・騒音の大きな機器は、必要に応じて内壁に吸音材を施工する等の対策を講じる。 	騒音の低減
施設が存在	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の高さ及び面積は、必要以上に大きくしない。 ・周辺環境と調和のとれた親しみやすいデザインとする。 	周辺環境との調和、圧迫感の低減
関係車両の走行	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物搬出入車両等が集中しないよう搬入時間帯の分散に努める。 ・不要なアイドリングや空ぶかし、急発進・急加速などの高負荷運転防止等のエコドライブの指導及び周知を行う。 	大気汚染物質濃度、騒音、振動の低減

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

大気質に対する結果

風向・風速の調査結果

環境影響
評価の
手続き

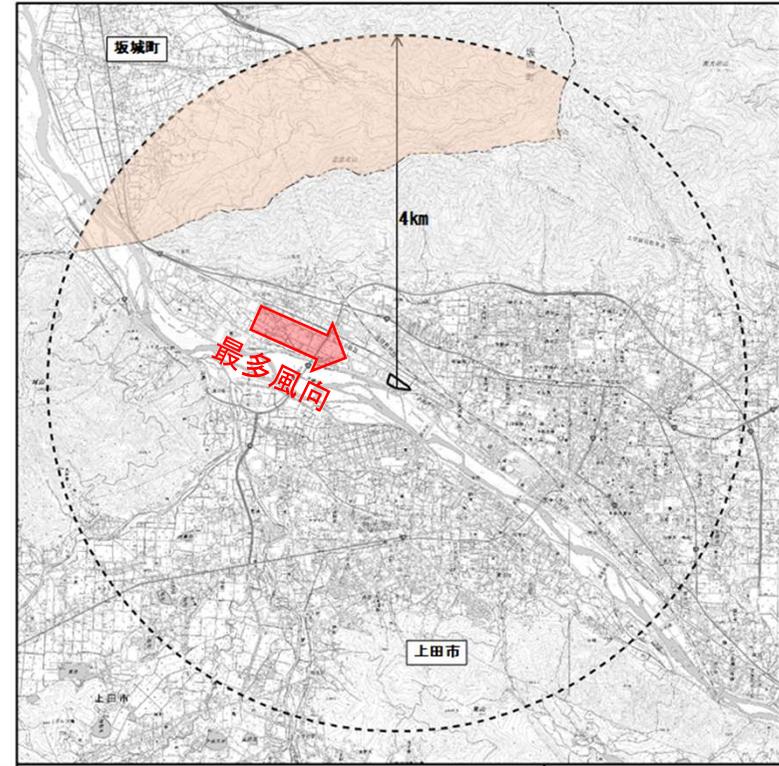
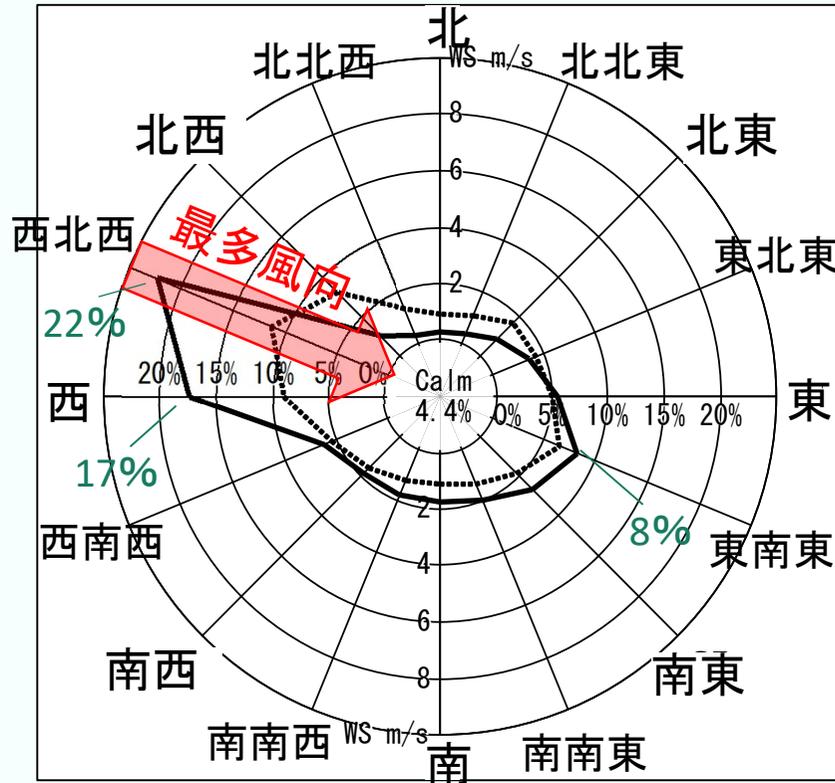
事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

風配図



- : 風向出現頻度 (%)
- : 平均風速 (m/秒)
- ※Calm : ≤ 0.4 m/秒

予測結果：二酸化硫黄の拡散結果

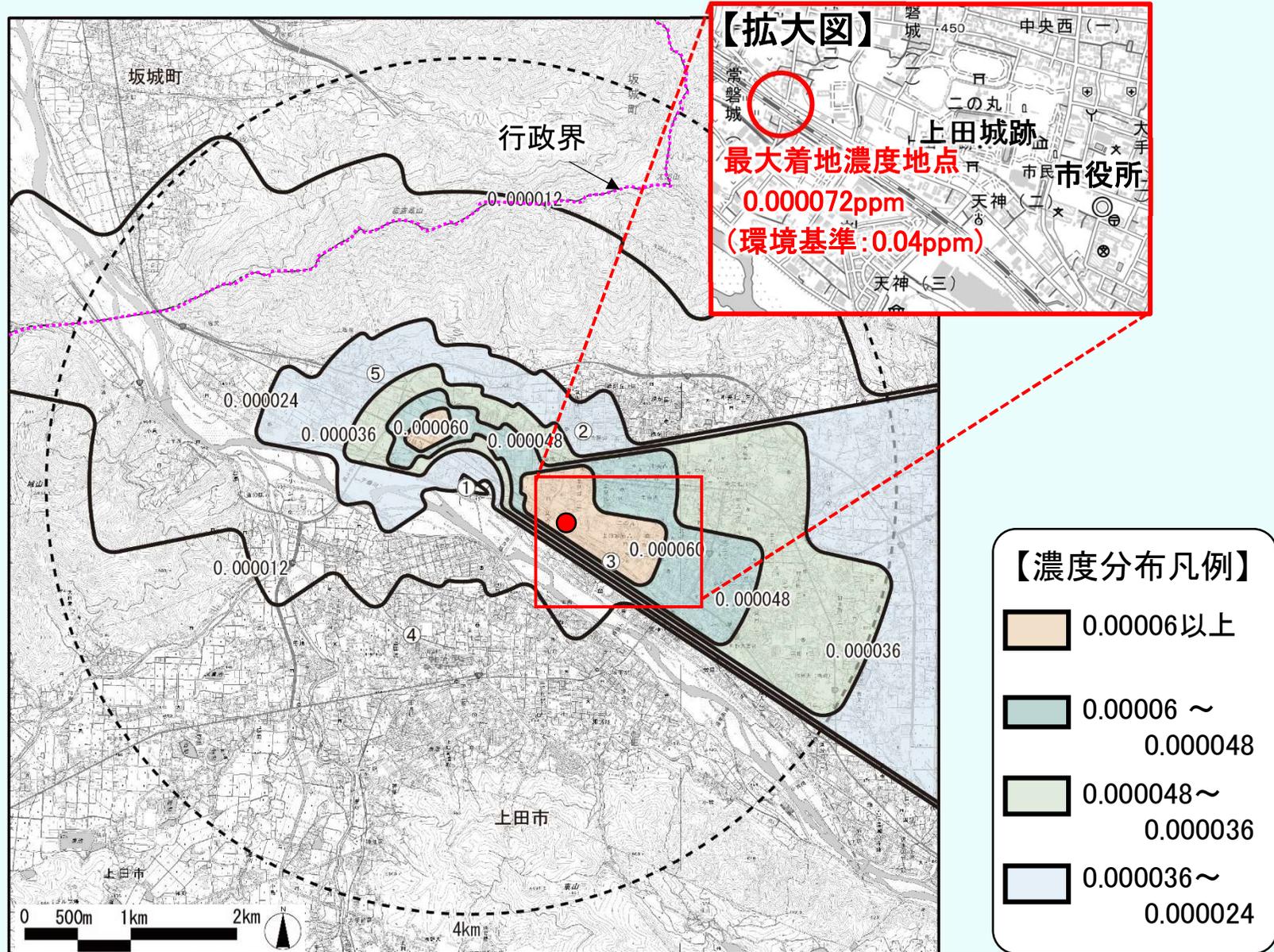
環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き



予測結果：二酸化窒素の拡散結果

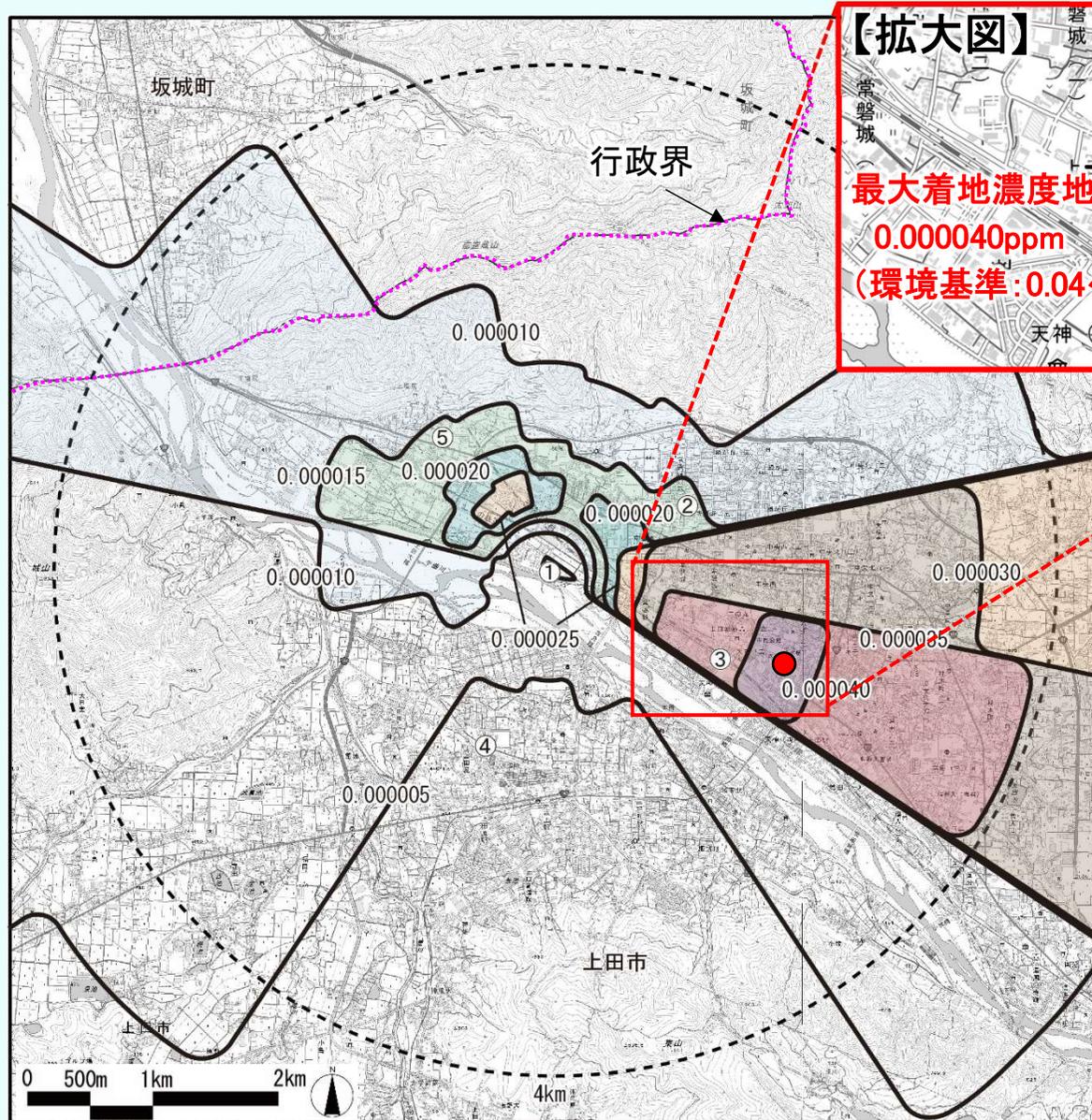
環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き



29 予測結果：浮遊粒子状物質の拡散結果

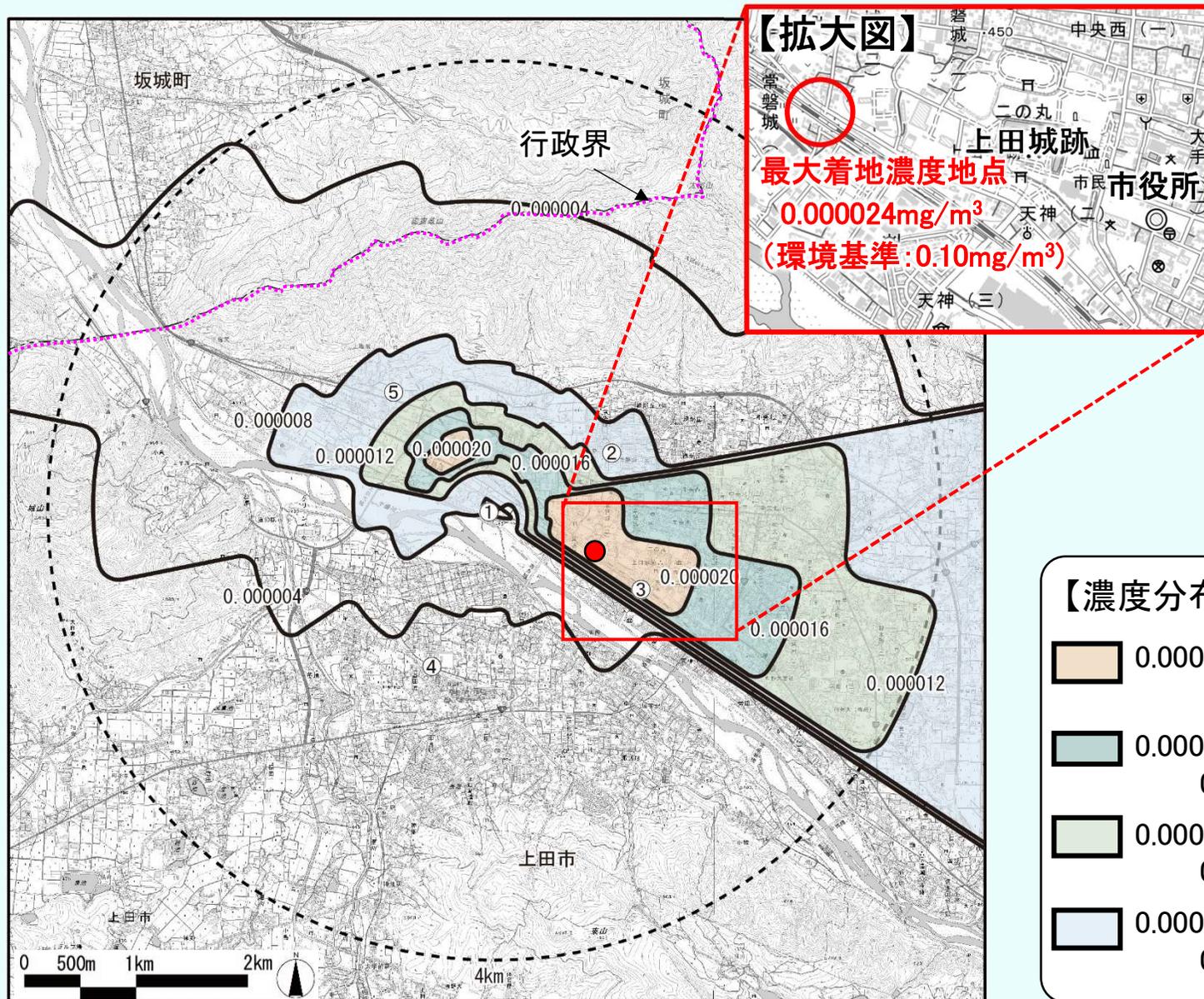
環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き



予測結果：水銀の拡散結果

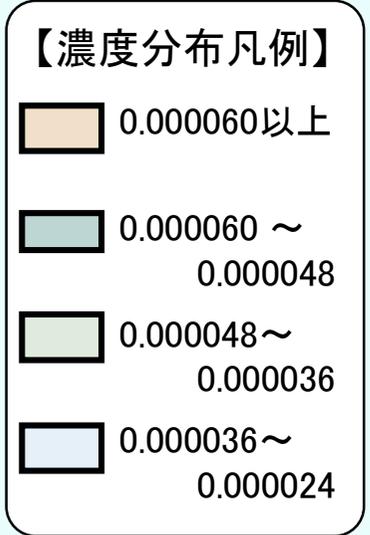
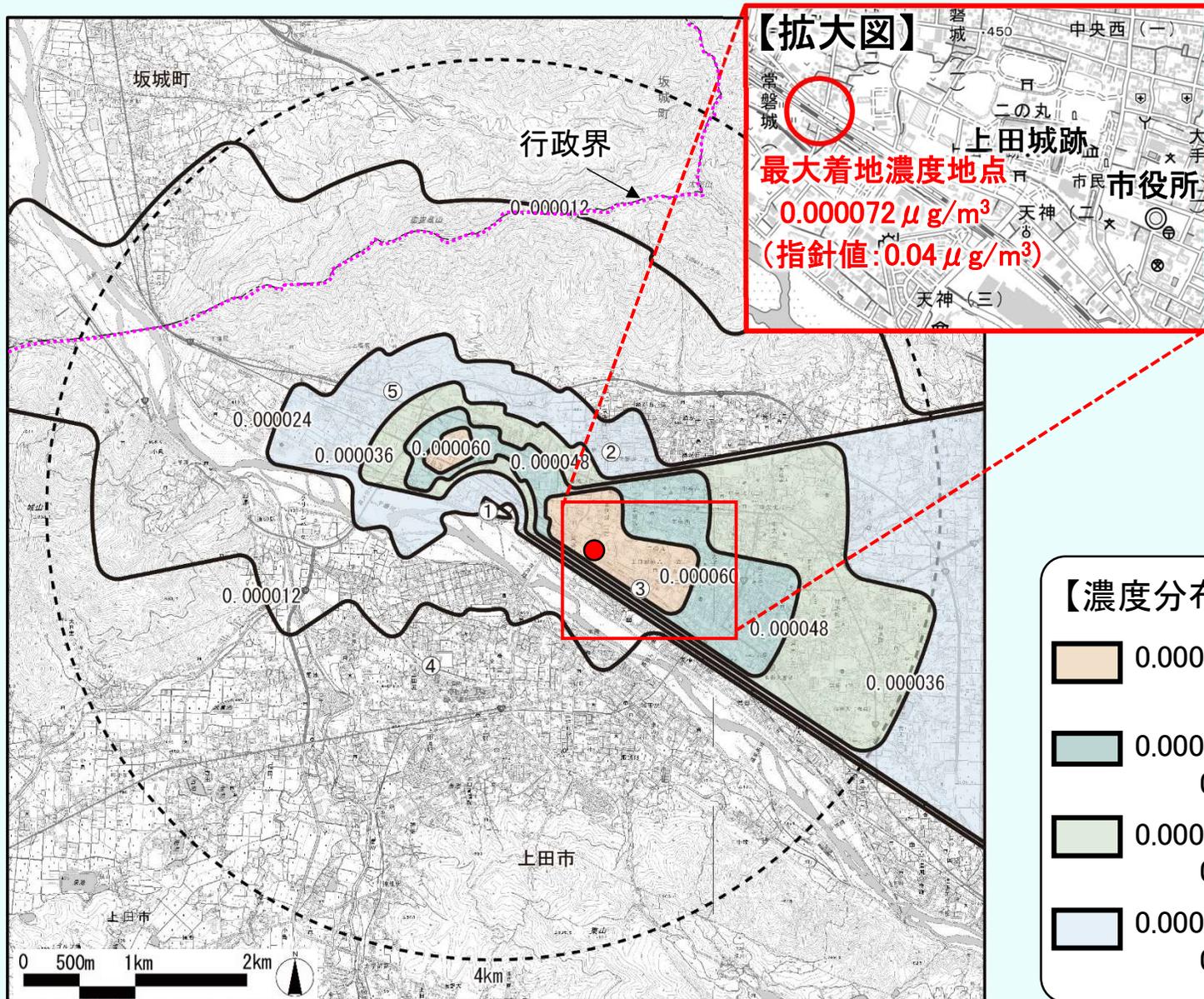
環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き



予測結果：ダイオキシン類の拡散結果

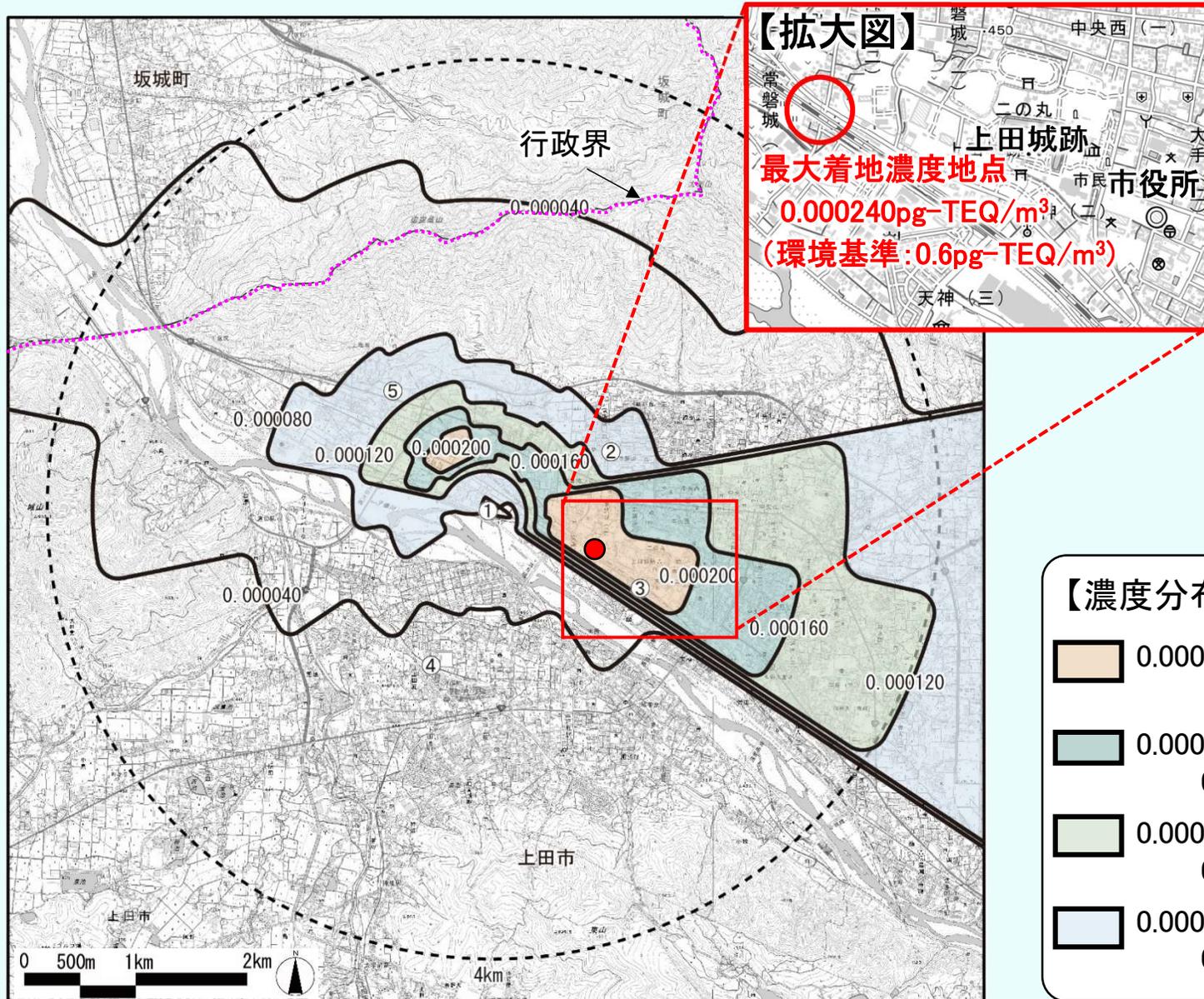
環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き



【拡大図】
 常磐城
 最大着地濃度地点
 0.000240pg-TEQ/m³
 (環境基準:0.6pg-TEQ/m³)

【濃度分布凡例】

	0.000200以上
	0.000200～ 0.000160
	0.000160～ 0.000120
	0.000120～ 0.000080

煙突排ガスに伴う大気質

【予測結果】

予測結果

最大濃度の地点でも、濃度は現況と大きく変わらない。

【最大濃度地点での現況と予測結果】

(年平均値)

項目	現況 (測定結果の最大値)		予測結果
二酸化硫黄 (ppm)	0.001	→	0.001072
二酸化窒素 (ppm)	0.005	→	0.005040
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.014	→	0.014024
水銀 (μg/m ³)	0.0019	→	0.001972
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	0.019	→	0.019240

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

煙突排ガスに伴う大気質

【評価結果・保全措置】

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

評価結果

将来も基準を下回り、環境へ与える影響は小さい。



環境基準と比較するために日平均値に変換

保全措置

- 適正で信頼性の高い排ガス処理設備を導入します。
- 設備機器は、定期的に点検をして、常に正常な状態を保ちます。
- 排ガスの常時監視を行い、電光掲示板等で公表します。

煙突排ガスに伴う環境保全措置

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

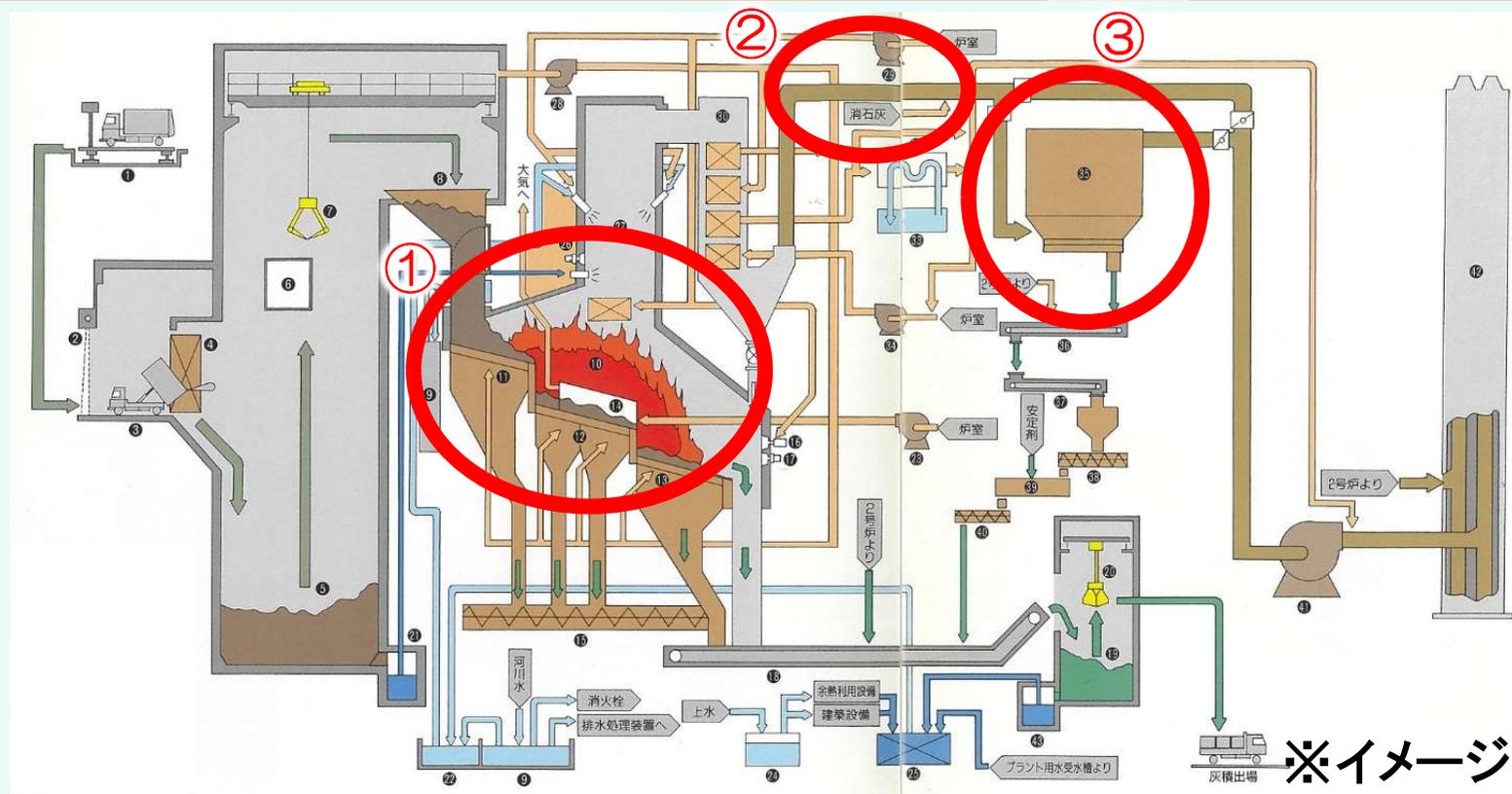
環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

適正な運転管理及び最適な排ガス処理システムの導入

- ①850℃以上の高温に保って燃焼し、**ダイオキシン類・悪臭物質の発生を抑制**
- ②消石灰・活性炭等を噴霧して**硫黄酸化物、塩化水素、水銀を除去**
- ③ろ過式集じん器により、**ばいじん、ダイオキシン類を除去**



※イメージ

煙突排ガスに伴う環境保全措置

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続き

地元の皆様との協同によるモニタリング

- (仮称)公害防止連絡員会議を組織し、地元の皆様と一緒に監視
- 安全・安心な運転稼働のため、(仮称)公害防止協定等を締結

施設 モニタリング



- 施設から排出される物質を測定

周辺環境 モニタリング



- 施設周辺の環境状況を施設稼働前から測定

排ガス状況監視掲示板

	●年●月●日	●時●分
焼却温度(℃)	●●	●●
二酸化硫黄(ppm)	●●	●●
窒素酸化物(ppm)	●●	●●
ばいじん(mg/Nm ³)	●●	●●
ダイオキシン類(ng-TEQ/Nm ³)	●●	●●

※電光掲示板イメージ

法的に測定した結果等、電光掲示板やホームページ等に表示し、「見える化」を促進

分析に時間のかかるダイオキシン類についても表示する予定です。

5 今後の手続き

今後のスケジュール(環境影響評価)

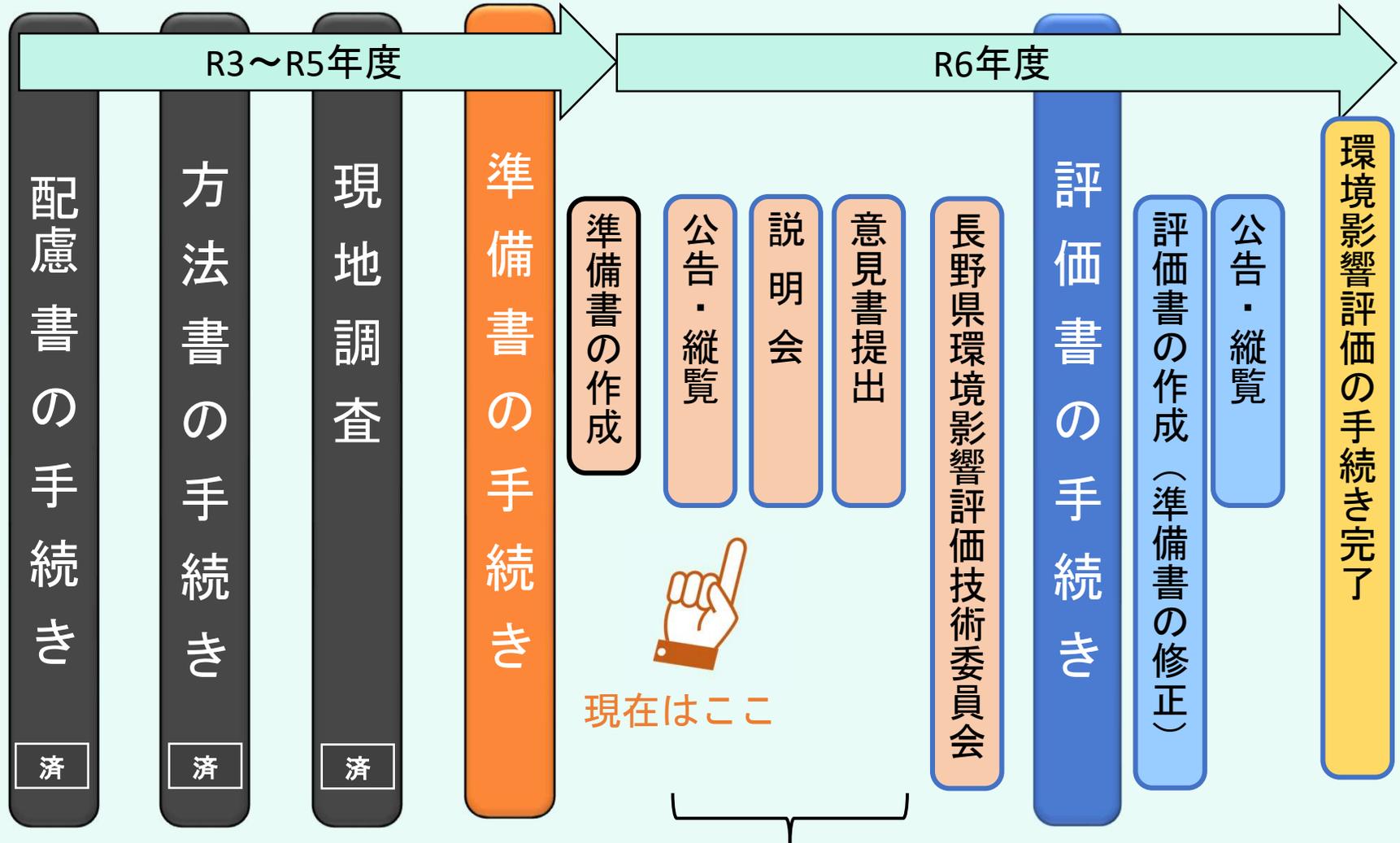
環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続



現在はこちら

令和6年5月~6月

準備書の縦覧について

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続

縦覧場所	<ul style="list-style-type: none">・長野県（県のホームページに掲載されます。）・上田市 環境部 環境政策課・東御市 市民生活部 生活環境課・青木村 住民福祉課・長和町 町民福祉課・坂城町 住民環境課・上田地域広域連合事務局 ごみ処理広域化推進室
縦覧期間	令和6年5月13日（月）～6月12日（水）（1ヶ月間）
縦覧時間	午前8時30分から午後5時15分まで

上田地域広域連合のホームページにも掲載しています。

意見書の提出について

環境影響
評価の
手続き

事業計画
の概要

環境影響
評価項目
の選定

調査・予
測及び評
価結果

今後の
手続

提出先	上田地域広域連合事務局 ごみ処理広域化推進室
提出方法	電子メール、ファクシミリ、持参、郵送
提出期限	令和6年6月26日(水)まで (1ヶ月の公告縦覧期間+2週間)
意見書に必要な記載事項	<ul style="list-style-type: none">・準備書の名称・住所及び氏名・準備書についての環境保全の見地からの意見 (日本語で意見の理由も含めて記載)

詳しくは、上田地域広域連合ホームページに掲載しています。

ご清聴ありがとうございました

上田地域広域連合事務局 ごみ処理広域化推進室

〒386-0027

上田市常磐城2320番地 清浄園2階

TEL: (0268) 71-7705 FAX: (0268) 71-7910

E-mail: gomishori@area.ueda.nagano.jp